

あだち 教育 だより

もうすぐ全児童・生徒一人ひとりにタブレット端末が届きます。
(撮影協力：西新井小学校)

発行日：令和3年7月13日

発行：足立区教育委員会
編集：学校支援課

vol. 79

特集

始まります!! タブレット一人一台時代!
学力向上どうしてる??

Before

発表の時間だ
▼
ちょっと自信がない…
▼
発言しづらいな

After

意見交換の時間だ
▼
ちょっと自信がない…
▼
みんなはどんなことを
考えているのかな?
アプリで見てみよう!

授業 改革

始まります!!

足立区では中学校が5月から、小学校は7月からタブレット端末の配付がスタートし、9月末には児童・生徒1人1台の配備が実現します。

タブレット1人1台時代!

今号では、導入されるタブレット端末の特徴や授業での活用方法についてご紹介します。

タブレット端末で授業がこんな風になります!



アプリを使ってたくさんの友達の意見を聞くことができ、新しい発見がありました!



★ eライブラリの正答状況で子どもたちの苦手分野が分かるので、これまでよりも早く個別フォローに入ることができるようになりました!



★ eライブラリでは、自分のペースで学習でき、どこまで取り組んだのか記録も残せて便利です。テスト勉強にもなります!



これから入るタブレット端末の特徴 (Windows 端末 Chromebook 端末)

- 自宅のPCやスマートフォンからでも自分のデータにアクセスできる
- 友達と意見交換できるアプリ搭載
- オンライン学習ドリル搭載!
- フタをあげると少ない待ち時間で学習スタート



こんなアプリが入っています!

★ eライブラリ ▶ オンライン学習ドリル。国、社、算(数)、理、英の教科書に沿った問題がたくさん用意され、自分の苦手分野も知ることができる!

Jamboard ▶ 自分の意見をふせん機能に書くと皆に見てもらえる!

ICT活用方法の最新情報をお届け!
学校ICTホームページ開設!

あだち学校情報ひろば

5月24日 OPEN

各学校でのタブレット端末などを使った授業の様子を紹介する「あだち学校 ICT 情報ひろば」を開設しました!一人ひとりに付与された*個人アカウントの操作方法なども掲載しています。随時更新していますので、ぜひご覧ください!

*Chromebookや各種アプリケーションのログインで活用します。

こちらからご覧ください▶



Information and Communication Technology

ICTでめざす教育

- 1 学力の定着**
視覚的で分かりやすい授業や、児童・生徒、一人ひとりの理解の度合いに応じた指導を実現し、学力の定着を図ります。
- 2 課題を解決する力の育成**
タブレット端末には、先生や友達とスムーズに意見交換をしたり、資料を送ったりできる機能があります。この機能を活用して、友達と協力しながら課題を解決する力を育成します。
- 3 場所を選ばない学びの実現**
教室だけでなく課外学習など、いつでも、どこでもタブレット端末を活用できる方法を検討しています。また、自宅に持ち帰るルールを設定した上で、7月から順次持ち帰りを開始し、12月には、全児童・生徒の持ち帰りが可能になります。

足立区の学力定着はここがすごい!

学力向上 どうしてる??

足立の強みはデータ分析をふまえた

区独自の学力調査の結果などを分析した学力データを、授業の改善や個別指導などに活かしています!



担任が学級・学年を越えて連携し、複数年計画で苦手分野の克服をめざしています!

きめ細やかな指導!!

小中学校 学級全体が苦手としている問題は... 指導改善

学力調査やワークテストの結果を活用し、正答率の低い単元を明確にし、学校全体で共有して年間指導計画の見直しを行っています。

児童が苦手な単元は、余剰時数を配分して指導時数を増やしたり、担任同士で教材研究したりして授業改善を図っています。



辰沼小学校 校長 辰沼 慎一 先生

小 3・4年生 学校

そだち指導

前学年の学習内容に課題のある3・4年生を対象に、週1時間、合計12回の予定で、別教室で1対1の個別指導を行います(国語・算数)。学習のつまづきを早期に解消することで、教室に戻ってからの授業の理解も深まります。丁寧な学び直しを通して、「できた!わかった!」の喜びを実感してもらい、学ぶ意欲も高めます。

Q 自分の苦手なところができるようになりましたか?
A はいと答えた児童 **98.1%**
(令和2年度「そだち指導アンケート」より)



辰沼小学校そだち指導員 小出 幸子 指導員

そだち指導アンケートからこんな声も届いています!

保護者 今までつまづいていたところが理解できるようになり、以前より学習意欲が高まった様子です。家庭学習でも「そだちでやった!」と自信をもって取り組む姿が見られました。

担任 計算間違いが減り、正確に答えを求められるようになりました。自分からプリントをもらいに来て計算練習をするなど、主体的に学習するようになりました。

担任 やればできるということを実感できた様子が見られました。

表の見方(横に見ると)▶▶▶ 一人ひとりの学力定着状況

学年	到達均スコア	単元名							
		小数の計算	長さ	時刻と時間	平面図形	重さ	円と球	棒とグラフ	
足立区全体	62.4	75.2	65.2	■	57.6	■	62.0	■	
〇〇小学校	63.3	78.2	67.8	■	51.0	■	63.2	■	
■年△組	62.8	77.3	69.0	■	47.0	■	62.8	■	
受験番号	氏名	到達スコア	小数の計算	長さ	時刻と時間	平面図形	重さ	円と球	棒とグラフ
◇◇◇◇	○村×美	65.3	76.8	50.2	67.8	58.0	88.0	76.7	70.2
◇◇◇◇	○田△男	56.0	75.2	65.4	60.4	50.0	70.2	40.5	63.3
◇◇◇◇	△岡□子	48.0	33.3	61.1	57.2	31.1	57.4	55.0	51.2

縦に見ると▶▶▶ 学級全体の学力定着状況

より一層の定着を図るために...

小中学校 放課後補習

江南中学校では、区の学力調査や定期テストの結果を分析し、学年全体で苦手意識のある分野について、毎週放課後に、全生徒を対象とした確認テストを行っています。その結果、目標値に達しなかった生徒には、その週のうちに1回約25分、3日間の補習授業を行い、基礎学力の定着を図っています(数学・英語)。

江南中学校
岡 大佑 先生(右)
松本 緑 先生(左)



全教員が参加し、生徒一人ひとりに寄り添った指導を実現!

勉強への苦手意識のある子には...

小中学校 特別講座

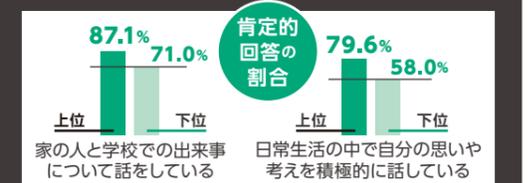
小学校では国語・算数、中学校では数学・英語に苦手意識をもつ児童・生徒を対象に、民間事業者による特別講座を実施しています。一人ひとりの学習状況に応じた指導を行うことで、自信をつけてもらい、早期に苦手意識を払拭しています。

夏休みも!

あだち小学生夏休み学習教室(小学3~6年生、約2,500人)
数学チャレンジ講座(中学1・2年生、約900人)
英語チャレンジ講座(中学1年生、約400人)

家庭で話をする子は成績が高い??

小学6年生の意識調査では、「家族との会話や自分の意見の発信ができています」と答えた児童が学力上位層に多いことがわかりました。ご家庭でも、学校での出来事やお子さん自身の考えについて、積極的に問いかけてみましょう。



新たに私立学校なども対象に

「子どもたちの活躍」を褒賞しています!

例年2月開催 褒賞式の様子

子どもたちにクリスタルトロフィーを渡す近藤区長

- 1 スポーツや文化の大会・コンクールなどで、素晴らしい活躍をされたお子さんをお褒め
- 2 令和3年度から対象を「区内在住・在学の小中学生」に拡大

推薦基準などの詳細は区ホームページに掲載しています。ぜひ、ご覧ください!

一人ひとりの名前が入ったクリスタルトロフィーを贈っています

足立区児童・生徒褒賞事業 [詳細はこちらから▶](#)



NEW! 令和3年4月1日付けで教育委員が就任しました。

早川 貴美子 教育委員

略歴 順天堂大学医学部卒業
順天堂大学医学部附属病院入局
足立区医師会会員



育英資金へのご寄附ありがとうございました!

- ・中村 政信 様
- ・足立明るい社会づくりの会 様
- ・匿名 3名 様

教育長コラム

「わかる喜び」、良き出会い

NEW! 新教育長

小学校中学年の頃、算数の応用問題がさっぱりわからない。でも、友達に後から聞いてみると、やはり、問題を解くにはある程度「コツ」があり、それがわかってくると今まで難しいと感じていた問題が簡単に思えてくるから、不思議な感じがしました。そこで感じたのは「わかる」楽しさでした。

難しかった問題ができるようになると、どんどん問題を解きたくなる。そして、また、壁にぶつかって、それを乗り越えていく。苦しいけど達成感がある。その繰り返しだったような気がします。

中学校では、良い先生にも出会いました。育休代替で英語を教えてくれた先生です。今までの先生とどこが違うの?と聞かれてもよく覚えていないのですが、とにかく英語を勉強することがとても楽しくなりました。順調に勉強もできるようになったと思いついていましたが、高校受験では見事に私立高校全部不合格!自分の実力のなさをまざまざと見せつけられて、本当にしんどかったけれど、これで、やっと本当の自分と向き合うことができた気がします。

高校では、東京大学を卒業し、商社に勤めたけれど、いろいろ事情があって教員になったという先生との出会いがありました。初めて東大卒の人と話をして、受験勉強のやり方など相談に乗ってもらううちに「自分も大学に入学できるのでは」と感じるようになりました。

「わかる喜び」、そして、良き先生や友達との出会い。もちろん大変なこともありましたが、「学校っていいところだったな」と思っています。みなさんの学校もそのような学校であり続けられるよう、先生方と力を合わせていきます。

足立区教育委員会 教育長 大山 日出夫

任期 2021年4月1日～2024年3月31日

略歴 足立区総務部長
足立区都市建設部長
2021年4月より現職

あだちLGBT相談窓口 事前予約制

ご家族などご本人以外も相談できます。

相談日時 **第1月曜日 午後5時～8時** ※日時は変更になる場合があります。
第3土曜日 午後2時～5時

予約受付 **午前9時～午後5時(月～金)**
TEL **3880-5222**

※ご予約は相談日の1週間前まで
※区ホームページからも予約可

ワクチン接種が始まります!

15～12歳対象

ワクチン種別
ファイザー社製
ワクチン

保護者の方と同じタイミングで接種が受けられるよう、接種券の発送が始まります。

- ★7月12日(月)に発送するのは、満12歳から15歳のお子さんです。
- ★小学6年生で11歳のお子さんには、原則12歳の誕生日当日に発送します。接種事業の終了(2月予定)までに満12歳にならないおさんは対象外です。今後変更の可能性あります。
- ★学校での集団接種は行いません。

年齢層	発送日
15～12歳(平成18年4月2日～21年7月12日生まれ)★	7/12(月) 予定
29～16歳(平成4年4月2日～18年4月1日生まれ)	7/19(月) 予定
38～30歳(昭和58年4月2日～平成4年4月1日生まれ)	7/15(木) 予定
45～39歳(昭和51年4月2日～58年4月1日生まれ)	7/12(月) 予定
64～46歳(昭和32年4月2日～51年4月1日生まれ)	発送済み

- 費用は無料です。
- 対象者が約44万人となるため、予約の混雑緩和を考慮し、年齢層ごとに順次発送しています。世帯ごとではなく、一人ずつの発送です。
- 接種券の発送日は予定です。今後変更になる場合があります。

皆さまへのお願い ◆…予約システム、予約・相談ダイヤルで接種予約できる一部医療機関も含む。

集団接種◆から個別接種や東京大規模接種センターでの接種に切り替える方は、必ず集団接種の予約をキャンセルしてください。

※6月23日現在の情報です。今後変更になる場合がありますので、最新情報は区ホームページをご覧ください。

ワクチン接種予約のサポート窓口やキャンセル方法などの詳細は、区ホームページをご確認ください。▶

足立区コロナワクチン予約・相談ダイヤル
TEL **03-4335-4558**
受付時間 午前8時～午後8時(毎日対応)

通話料金が掛かります。

新型コロナウイルス感染症などによる

偏見や差別を生まない安全安心な学校をめざしています!

区立小中学校では、児童・生徒に対して、新型コロナウイルス感染症に関連する偏見や差別を生まないための指導を行っております。ご家庭においても、相手の気持ちを考えた行動を心がけるようご指導ください。

足立区いじめ110番
☎ **03-3880-5577**
(月～金 午前8時30分～午後5時)

教育相談一般・東京都いじめ相談ホットライン
☎ **0120-53-8288**
(24時間365日受付)

いじめ相談ネット
(24時間受付)
(区ホームページ)

教育長賞

東綾瀬小学校 (当時3年生) みやこし 宮越 あゆり さん のがみ みさき 野上 岬姫 さん
ごとう りお 後藤 梨緒 さん ひなた ゆうき 日向 優綺 さん

動画づくりのながれ

このタブレットを
使いました▶



1 役割分担、絵コンテ*づくり



MC、プロデューサー、美術、
作家、ディレクターを決めよう

※絵コンテ…動画をつくる際の設計図にあたるもの。

2 撮影



3、2、1…

3 編集

こんな機能も
あるんだ!



ここに文字を
入れてみよう

4 完成



実際の動画はこちら▶

第8回から応募している東綾瀬小学校。これまでは先生が撮影していましたが、第10回は子どもたちが主体となってCMをつくりました。

撮影も編集も自分たちで!

「区歌の紹介をしたい」と考え、学校に配備されたタブレット端末を使い、すべて自分たちでCMを作成しました。最初は絵コンテが分からず戸惑い、また、台本を覚えるのも苦労していたみなさん。それでも、「足立区の良いところを伝えたいと思いながらつくりました。最後は、『やっと完成した!』という気持ちでした」と達成感に満ちた表情で話してくれました。

学校行事が縮小される状況下でも、「何かを経験してもらいたい」という先生の熱い思いから、児童によるCM作成が実現しました。この経験を活かして、子どもたちは「これからも色々調べて、撮影したり編集したりしたい」とさらなる成長に向けてチャレンジします。



「あだちワンダフルCMグランプリ」の特設サイトはこちら▶

第73回東京都中学校支部対抗 陸上競技選手権大会

第1位

(男子2年1500m、タイム：4分13秒40)

第十一中学校 ますだ りくと 増田 陸斗 さん
(当時2年生)



「悔しい」が出発点

「持久走大会で友達に負けたことが悔しくて」。このことがきっかけで、小学2年生から陸上を始めました。「練習がうまくいくとモチベーションが上がるので、とにかく集中力を高めて取り組んでいます」と増田さん。部活動以外でも休日に走ったり、足が速い選手の動画を見ながら自分が走る姿を連想したりして、日々努力を重ねてきました。

中学入学後はしばらく思うような結果を出せずにいましたが、その分、今回の大会で第1位を獲得できたときは、「嬉しさが爆発して大きなガッツポーズをしちゃいました」とキラキラとした笑顔で語ってくれました。

第73回東京都中学校駅伝競走大会でも力走しました!



憧れの選手を追いかけて

小学5年生から東京都強化指定選手に選ばれ、今では陸上部のエースへと成長しました。そんな増田さんには憧れの選手がいます。過去と一緒に練習をした、当時高校生の鈴木芽吹選手(現在：駒澤大学2年生)です。練習に打ち込むストイックな姿が「カッコいい」と感じたそうです。「目標は、鈴木選手が進学した高校、大学に入り、学生記録を更新することや、その選手も活躍している箱根駅伝に出場することです」。

周囲の支えに感謝の気持ちを忘れず、これからの長い未来を駆け抜けていきます。

